

温泉熱スターリングエンジンを見学（平成 26 年 6 月 26 日）

機械工学科を鳥取県内の塾関係者が見学し、熱工学研究室の研究テーマが紹介されました。温泉熱エンジンを研究中の谷村幸太君（専攻科生産システム工学専攻 1 年生）は、温泉の源泉温度に合わせて 60℃のお湯で温泉熱エンジン（スターリングエンジン）を実際に動かし、動作の原理や研究内容を紹介しました。この温泉熱エンジンは、米子市内の企業と共同開発中の試作 4 号機で、皆生温泉の足湯設備に設置することを目指しています。見学者の関心は高く、多くの質問がありました。



スターリング温泉熱エンジン（中央）の研究内容を説明する谷村幸太君（左）